りょうかわ

学校だより　令和3年10月8日発行　第10号　新潟市立両川小学校

地域と学校がともに支え合っていく未来

校長　　中村　雅芳

今日で令和３年度前期の教育活動が終わります。コロナ禍２年目となった今年度も，感染リスクを少しでも軽減するために，様々な活動制限をかけながらここまで進んできました。お陰様で，子どもたちは元気にすくすくと成長し，私たち教職員は日々大きな喜びを感じながら，教育活動に取り組んでいます。

４月からの Web 日記を振り返ってみました。今日現在で，７２記事をアップしています。昨年度の同時期と比べると，約１．５倍の掲載量です。これは，昨年度，休校や分散登校をしていたことが響いているのですが，それ以上に，今年度は地域の方々が数多く来校され，子どもたちに生きた学びを与えてくださっているからだと，一つ一つの記事を読み返す中で気付きました。

コロナの感染状況を昨年度と比較してみると，今年度の方がよほどキツい状況です。８月にはデルタ株が全国的に流行し，一時期はひどい状態に陥ったことはみなさん周知の通りです。そんな感染リスクもある状況にも関わらず，熱い志をもって子どもたちの教育に携わってくださった皆様に改めてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。お名前をあげればきりがありませんので割愛しますが，保護者の皆様もそんな観点から，改めて Web 日記を読み返していただけましたら幸いです。

ところで「地域に開かれた学校から，地域とともにある学校へ」というスローガンの下，新潟市の施策として，来年度よりコミュニティースクール（学校運営協議会制度）が始まります。当校ではこれまで「学校評議員会制度」という枠組みで，年に２回，学校評議員会を開催し，学校評議員（コミュニティ協議会会長・民生児童委員・地域包括支援センター推進員・元酒屋小学校ＰＴＡ会長・元両川中学校ＰＴＡ会長・小中ＰＴＡ会長）の皆様から，学校運営についてのご意見をいただき，教育活動を修正・強化してまいりました。会議後には「私たちは支えられている」という温かい気持ちが，いつも心の中に残る素晴らしい時間でした。この会議，制度を発展的に解消し，新設されるのが「コミュニティースクール（学校運営協議会制度）※以後ＣＳと呼びます」です。

違いはスローガンでも示されているとおり，ＣＳは「学校を拠点として，地域と学校が支え合い，ともに成長し，活性化していくことをねらっている」ことです。そのため，学校は次の３つの姿を実現していきます。

1　保護者，地域，学校が「学校運営の基本方針」を共有している学校
2　保護者，地域，学校で「社会に開かれた教育課程」を実現している学校
3　保護者，地域，学校が一体となり，「地域総がかり」で子どもの成長を支える体制のある学校

これらの姿の実現に向けた手立ての核となるのが学校運営協議会（年間３回を予定）であり，学校運営協議会委員お一人お一人となります。委員は現在選定中で，今年中には内諾を得ていく予定です。任命された委員の皆様からは，次のことを具体的に担っていただきます。

1　地域の方々の思いを聞かせていただく。
2　学校運営の基本方針（学校教育ビジョン）を点検，承認し，地域に広げていただく。
3　学校の教育活動を点検し，承認いただいた学校教育ビジョンの実現に向けて進められているか，評価していただく。
4　改善が必要ならば，改善策を学校とともに考えていただく。
5　子どもの学びを支える情報や知恵を教えていただく。

この制度導入によって，私には明るい未来が想像できます。これまでも地域から支えられてきた当校ですが，地域と学校がますます堅く手を結び，ともに元気になっていく。そんな未来を実現してまいります。

保護者の皆様も地域の皆様です。学校運営協議会委員にならなくても，これまで以上に当校の教育活動に積極的に関わっていただき，ともに地域と学校を支えていただきますようお願い申し上げます。なお，この制度の詳しい情報は，新潟市教育委員会のホームページ（https://www.city.niigata.lg.jp/smph/kosodate/gakko/f_index/communityschool.html）をご覧ください。

心強いスタッフが加わりました

１０月６日（水），当校にスクールサポートスタッフとして上嶋奈歩（うえじま　なほ）さんが着任されました。スクールサポートスタッフとは，学校での感染防止対策を強化するために，市内すべての学校に配属された臨時職員です。校舎内の消毒を主に担っていただきます。これまで教職員で手分けをして行っていた業務が，上嶋さんの加入により強化され，子どもたちの感染リスクも低下します。大変心強い限りです。

このたびスクールサポートスタッフとしてお世話になります上嶋奈歩と申します。
私には中学１年と小学１年の息子がいます。今回，日々お世話になっている先生方や子どもたちの力になれたらと思い，応募しました。
両川小学校のみなさんが過ごしやすいようにサポートしていきます。